（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	みどりの風			
○保護者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年　9月　15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27	（回答者数）	22
○従業者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年　9月　15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基準人員以上の配置を行う事で、一人ひとりに対してしっかりと療育を行える体制	一人に対してより多くの時間がかけれるので、その子に向き合った療育を丁寧に行っています	余裕のある人員体制を活かし、定期的な勉強会や研修を行い、スタッフ全員が質の高い支援を提供できるようにしていきます。
2	個別の五領域に対応した支援プログラムに加え、日ごとに集団プログラムを作成し、多角的な視点からアプローチを行うようにしている。	一人ひとりの発達課題に対応する丁寧な個別支援と、集団活動での協調性やコミュニケーション能力の向上を両立させています	個別と集団のプログラムの連携を強化し、 ただプログラムを組み合わせるだけでなく、それぞれの活動が相互に影響し合う仕組みを作ります
3	お子様のことを一番に考え、保護者の皆様の都合に合わせて、時間外でも柔軟に対応する体制を整えています。	「今、話を聞いてほしい」「どうしても仕事が…」という気持ちに、柔軟に対応できるように取り組んでいます	自宅訪問等、保護者の方との面談機会を増やし、ご家庭での様子を共有いただくことで、より一貫した支援を提供します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の大きさが基準は満たしているが、スペースが狭いうえに、従業員の人数も多く配置している為、活動のスペースがすこし手狭に感じる。	療育等行う場所が集中しがちな為	療育を行う場所を分散させゆとりのあるスペースで作業できるようにする。長期的には移転も視野に入れていく
2	保護者が相談を切り出せる機会が少ない	基本的に保護者からの相談の連絡があってからの対応になる為、相談しにくいと思われる	自宅訪問等切り出せる機会を積極的に作っていく
3	親への情報共有を周知しているが共有できていない	情報の伝え方が一方的になっている	自宅訪問など保護者との情報共有する機会をふやし、SNS等をさらに活用していく

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みどりの風

公表日 年月日

利用児童数 27　　回収数 22

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	3		2	面積が狭い	基準以上のスペースは確保していますが、今後は移転も検討していく
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			3	十分だと思う	基準の人員配置以上を基本にして、障害特性に応じて人員配置を増やしています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	6		4		必要に応じて改善していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1		3		清潔な環境を継続する為、日々消毒清掃を丁寧に行います
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1		今後も一人一人に対応した支援を行っていきます
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	20	1		1		今後も一人一人に対応した支援を行っていきます
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					分かりやすく説明するように心掛けます
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1		1		保護者の方からの適切と思えない個所を確認し、検討していきます
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			1		保護者の方からの適切と思えない個所を確認し、検討していきます
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1		1		個別課題に加え集団課題も設け、毎月新しいプログラムへ更新しています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	5	1	3		学校などで遊ぶ際に、地域の子が混ざりたいときは共に遊んだり、土曜日に地域交流に出向いています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			2		説明の際にご理解いただけるまで丁寧に説明をしていきます
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21			1		説明の際にご理解いただけるまで丁寧に説明をしていきます
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	5	4	2	デイでする必要を感じない	保護者の意見を聞き、希望があれば行っていきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2		1		ＬＩＮＥを通して営業時間外でもできる範囲で随時対応させていただいております、対応の遅れ無く適切にな対応を心がけていきます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			1		子供たちに寄り添った支援を行っていきます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3		1	参加していない	秋と冬に交流会を設けていますが、参加しやすい環境を構築していきます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22					ＬＩＮＥを通して営業時間外でもできる範囲で随時対応させていただいております、対応の遅れ無く適切にな対応を心がけていきます

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	2		1		LINE・ブログを通して発信しておりますので、周知活動をしっかり行います
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1				更新ごとに周知・説明をしていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22					定期的に訓練を行っておりますので、周知していきます
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	21			1		周知・説明をしていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			2	怪我をしたことが無いため不明	事故が起きた時の対応など社内で研修を行い、もしもの際に迅速な対応をとれるようにしています
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1				どの点に楽しめない点があるかを確認し楽しみに通所できる環境を構築します
	29	事業所の支援に満足していますか。	22					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	みどりの風

公表日　2026年　10月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		空間にゆとりが欲しい場合などには、公園、さんぽ等外に出ることもしている。	利用する過ごし方によって対応しています。職員が目の届くようにしています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		基準より多くの児童指導員を配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			まだまだ利用しづらい箇所もあるので今後も改善していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			まだまだ利用しづらい箇所もあるので今後も改善していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りの場を設けており、必要に応じてミーティング等を積極的に行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意見をもとに改善に努めていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを設けており、その内容を踏まえ業務改善に努めています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価については今後検討予定です
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部の研修に参加、その内容を全員で共有	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公開しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		研修や勉強会を重ね、質の高い計画を作成していきます	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングにて検討し作成しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		職員が見れる場所に掲示しいつでも確認できるようにしています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ソフトを利用したアセスメント作成を行ったり日々の利用記録を残し確認しています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		作成者の意見だけではなく他社の意見も踏まえ支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全職員間で検討して立案しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		過去のプログラムを確認・精査してより良いプログラムを模索していきます	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		平日は個別、集団課題等毎日設定しており、休日には経験学習、工場見学等取り入れ、様々な経験が得られるように心がけています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティング、前日には課題の共有、分担などを決めています。	ミーティングに出れない人への伝達等を今以上に行い、漏れがないようにします
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		送迎等があるため、翌朝のミーティングに振り返りを行い情報共有し、不在の職員にも都度伝えています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用記録を書いて共有できています。誰が見ても理解できるように記入することを心がけていきます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング前に職員で利用者についての振り返りをしています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		基本活動を踏まえ、支援を行っています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子供の気持ちによりそい状況に応じて、支援内容を変更したりしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者または責任者が参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各機関に連携を依頼しています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有を各機関にお願いしています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		担当者より今までの状況等を説明しています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		○		機会があれば参加したいです
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		積極的に地域の交流会に参加しています	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		機会があれば参加したいです
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用記録にて伝えています。必要に応じて電話・面談は行っています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者と話をする中で必要に応じて助言を行っています。今後機会を増やしていきたいと思っています。	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に全てお伝えしています。わからない場合は必要に応じてお伝えしています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		随時、電話又は面談により確認できる機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		保護者に直接説明を行い、同意を頂いています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		電話又は面談により悩みの理解・助言に努めています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		クリスマス会・ブドウ狩り等、季節の行事と合わせて保護者の方が参加しやすくしています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談・申し入れに対する担当者がおり、申し入れ等あった場合は事業所内で話し合い、迅速に対応しています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のお知らせのほかにブログを利用しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		資料のある部屋に入れないように対応しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思を確認する時、その方が理解しやすい伝達方法を使うようにしています（子供に対してはコニュニケーションカードなど）	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	見学はいつでも可能となっていますので、状況に合わせて対応していきます	積極的な働きかけを考えていきたいと思います
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、職員には周知し、定期的に訓練しています。	保護者に向けてわかりやすく具体的な対応方法をお伝えしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		ＢＣＰに基づいた訓練を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前に保護者の方から確認を頂いています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者の方からの指示に基づいています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例を検討し対策をその都度話し合いを行っています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員、勉強会を定期的に行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		マニュアルを作成し、職員には周知し、定期的に訓練しています。	